



第122号

社会福祉法人
 ロザリオの聖母会
 千葉県旭市野中4017
 Tel (0479) 60-0600
 ホームページアドレス
<http://www.rosario.jp>
 Eメールアドレス
honbu@rosario.jp



小原ケイ記念聖堂全景（右下は、本会創設者の記念碑）

| 目 | 次 |
|----------------------------|----|
| 年頭所感..... | 2 |
| 震災復旧に関する経過報告..... | 3 |
| ロザリオ福祉まつり収益義損金..... | 4 |
| 創立記念日講演会..... | 4 |
| 障害者週間記念講演会..... | 5 |
| 千葉県仮設住宅生活支援アドバイザー派遣事業..... | 6 |
| 女医会見舞金..... | 6 |
| 千葉YMCA寄付..... | 7 |
| 伊藤園寄付..... | 7 |
| 誤植に関する訂正とお詫び..... | 7 |
| 寄付金税額控除のお知らせ..... | 8 |
| 次世代育成支援行動計画..... | 9 |
| 苦情受付状況..... | 9 |
| 永年勤続者・外部表彰者 | |
| ボランティア感謝式表彰者..... | 10 |
| 寄付者御芳名..... | 11 |
| フォトギャラリー..... | 11 |
| 行事予定・お知らせ..... | 12 |

年頭所感

理事長 桑島克子

明けましておめでとうございます。

昨年は余りにも大きな自然災害が国の内外で目白押しでした。3月11日のM9の東日本大震災では約2万人の死者・行方不明者を数えています。その他2月にはニュージーランドクライストチャーチ近くの地震で日本人の方々も犠牲になられ、10月にはトルコ東部の地震で多くの犠牲者ができました。9月の台風12号による死者・行方不明者数は94名を数えました。タイの洪水は記憶に新しいことです。1年前の元旦に山陰地方の大雪で車千台が42時間立ち往生、6月には猛暑も記録的でした。

加えてアラブの春と唱せられる民主化の波で長年続いた独裁者とその座を追われました。

これらのことを通して私たちの立っている基盤がいかに脆いものであるか、無常性を感じ方向性を見失った感があります。

このような時期にロザリオの聖母会の創立60周年を迎えることは意義深いことと考えます。

週ればカトリックの神父・戸塚文卿が昭和6年開設した結核療養所「海上寮」に源を持ちます。一時日本医療団に買収されていたのを昭和22年に買い戻したのは小原ケイを代表とする宗教法人でした。昭和27年には社会福祉法人ロザリオの元后会として新たな出発をしました。その後結核入院患者が少なくなる中で当時世間から疎まれていた心の病の患者さんのための療養所として再出発することに方向を変えました。この間の経緯はロザリオの聖母会記念誌に詳しく書かれています。偶然が必然になる経過に導きがありそれに従ったロザリオの聖母会(元后会から名称変更)の生き方が強く反映していると感じています。

職員の皆様はロザリオの意味

するところ、聖母マリアの生き方をご存知と思えますが簡単に記します。

ロザリオはイエズス・キリストのそばに尽くしておられる聖母マリアに心を合わせて祈ることです。また、ロザリオはバラの花冠という意味で定められた祈りを1輪のバラとみなし、奥義を黙想しながら霊的花束を聖母マリアに捧げる観想的な祈りです。

聖母マリアはキリストから目を逸らすことなく生き、キリストの言葉をすべて胸に納めました。その生き方は受胎告知の場面で発せられた言葉に現われています。「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」

ロザリオの聖母会の先人方はこの生き方と方法を基本として法人運営をしてこられました。結核療養所から精神科療養所に転向するときも祈りの中から示された道へ進まれたと思えます。「最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。最も小さい者の

一人にしなかったのは、わたしにしてくれなかったことなのである。」と言われた神の言葉に従い「相手のために何かをしてあげる」という姿勢でなく「評価されなくとも相手のために謙虚に奉仕していく」ことを大切に、いつも祈りがその中心にあつたと生前に一緒に仕事をされた方々は感じていたと思います。初代理事長の約40年間は関連の施設を整備しただけでした。その後20数年で現在の多数の施設が出来ました。先人達の祈りに支えられたことだと思えます。制度が変わり表面に現われている「良し」とされていることが本当に光のあたらない人びとのためなのか、真に示された道なのか先人たちの歩んだ道をもう一度振り返り方向性に示唆を得ていきたいと考えています。このことは大震災後に大切なことが見えてきたことに通じると思います。

職員の皆様にも是非法人の真の歴史を学んで頂きたいと願っています。

復旧・復興への道のり

―震災後10カ月を経て―

専務理事 野口厚司

震災後10カ月を経た今日、当時
に比べてロザリオの聖母会の施設
内外はかなり平静を取り戻してい
る感があります。

ふり返れば平成23年3月11日、
午後2時46分頃に発生した東北地
方太平洋沖地震と大津波、原発事
故は、物理的な衝撃の激しさに加
えて精神的にも魂を揺さぶられる
ほどの激しさをもって私たちに襲
いかかったため、だれもが「幸せ
とは何か」「文明とは何か」「人間
や家族の絆とは何か」といった根
本的な問いの前に立たされる結果
をもたらしました。

当時の混乱や不安・恐怖感は一
般的には徐々に過去のものとなり
つつあるものの、被災地や被災者
の方々にとっては失った家族、知
人への哀惜の念や目前の生活再建
の課題など到底過去形では語れぬ
状況が続いています。また、福島
原発事故の傷跡は癒えないまま解
決への端緒についたばかりで、こ
れから気の遠くなるような復興へ
の道のりが待ち受けています。

700人超の利用者、患者のみなさ
んに対して責任を持つロザリオの
聖母会では、幸いにも津波被害か
らは免れることができ、人的被害
は皆無でしたが、建物や設備に対
する被害には甚大なものがありま
した。

中でも、液状化現象による建物
傾斜・沈下、駐車場・私道の陥没、
地中給排水管の損壊によるライフ
ラインの停止等の被害が深刻で、
とりわけ浄化槽損壊による排水機
能停止の影響は大きく、建設現場
用の仮設トイレを15台借用して凌
ぐという状態が3月末日まで続い
たことは、忘れることのできない
体験として強く記憶に残っていま
す。

このような状態からの復旧・復
興への歩みは、いくつかの段階を
経て進んだように思います。

第一段階は、震災直後から4月
にかけてのライフラインと道路・

駐車場の復旧でした。応急処置的
工事に止まらざるを得ませんでし
たが、日に日に不完全ながらも何
とか日常レベルへ回復する施設・
事業所が増えていきました。しか
し、一部の施設では浄化槽そのも
のが破壊されて修復が困難などこ
ろがありました。

第二段階は、震災後一ヶ月ほど
経過した4月中旬に、行政から補
助金（社会福祉施設等災害復旧費
補助金）適用の朗報が届いたこと
でした。これにより施設の改修、
復旧工事が国庫補助により可能な
ことが明らかになったため、浄化
槽の新設も含めた大まかな復旧計
画を立てることができました。ち
なみに平成23年4月18日付で提出
した社会福祉施設災害復旧費補助
金協議書に計上した法人費用総額
は、対象施設・事業所分が1億7
千万円、対象外分も含めると2億
6千5百万円という額に上りまし
た。

6月に入ると千葉県障害福祉課

の担当の方が何度も当地を訪れて、
つぶさに視察を行い、またわれわ
れの訴えに丁寧に耳を傾けてくだ
さり、国との間にたつて補助金申
請へのアドバイスをいただくこと
ができました。そのお陰で浄化槽
等の復旧工事のほとんどに補助金
が下りることになり、順次工事が
進展しました。

第三段階は、現実に建物や浄化
槽が元の姿を取り戻した時期です。

8月末に水平復旧工事を完了し
た、利用者や職員の憩いの場であ
る喫茶ひまわりは、被災後5カ月
を経て法人内に初めて目に見える
形で復元した建物としてシンボル
的存在になりました。

この時期から法人内各所に復興
の光が見え始め、以降、聖家族園
の外部トイレ、浄化槽、聖マリア
園の浄化槽、聖母療育園では家族
棟など付帯設備の復旧に加えて、
浄化槽も年内には大方の工事が完
了するに至りました。加えて佐原
聖家族園の室内修復工事も新年早々
着工する見込みなので、解体、新
築を検討しているふたば保育園を
除いておおよそ年度内には完全復
旧を果たせそうな見込みです。

このような道のりを着実に歩むことができたのは、先の千葉県障害福祉課、旭市、香取市などの行政機関のご支援や、たくさんのお見舞いをお寄せ下さった個人、企業、家族会、後援会、同業の社会福祉法人様等々、多くの方々のお力添えがあればこそ、法人を代表して心から感謝と御礼を申し上げます。

なお、施設を最優先に置いた関係で遅れている法人付帯設備（職員寮その他）の解体、改築等は第四段階としての課題であり、津波避難場所も含めた防災的視点を重視しつつ中長期計画で実行していきたいと考えています。

以上、旧年中お世話になった方々への感謝とお礼の気持ちを込めて復旧の歩みを報告させていただきました。法人創立60周年を迎える2012年の広報ロザリオ新年号で、復旧、復興の姿をお伝えできたことは、未来への明るい兆しを予感させるものと思っております。

ひろげようみんなで福祉の輪を — 災害義援金寄付 —

専務理事 野口厚司

第22回ロザリオ福祉まつりの目的の一つに挙げていた東日本大震災復興支援のため、福祉まつりの収益に旭市七夕祭りの売上金を加えた60万円の中から、旭市に復興支援義援金として30万円、千葉県共同募金会へ東北関東大震災義援金として30万円を寄付させていただきました。

平成23年10月31日の早朝、市長室で明智忠直旭市長に直接お渡しした際に、市長様から丁寧なお礼の言葉をいただきましたのでこの場をお借りして報告させていただきます。

ロザリオの聖母会の災害復旧にはたくさんの方の補助金や見舞金をいただくことができましたが、東北地方ではいまだ復興の目途がたつていない苦しい状況の中、仮設住宅での不自由な生活を強いられている方が多くいます。社会からわれわれに寄せられた連帯の輪を、少しではあります

が被災者の方々にはひろげたいという思いからこのような形をとらせていただきました。この提案を快くご理解下さった後援会やロザリオ福祉まつり実行委員会、関係のみなさまにご報告と御礼を申し上げます。



創立記念日講演会

森一弘師

「神とは何か」

一昨年度の「愛とは何か」、昨年度の「信じるということ」に引き続き、森司教様を招聘し、「神とは何か」題して、創立記念日講演会を催しました。

哲学的、形而上学的であり、人類史の最大の謎であり課題とも言える非常に深遠なテーマにもかかわらず、司教様自身の個人的な体験に基づいて具体的に解説されました。

講演内容のサマリーを以下に紹介します。

『「神とは何か」という問いかけに対する答えとして、第一には「神はゆるぎない大地のような絶対的な存在」であり、第二には「神は母の子宮の中に包み込まれるような優しく支えてくれる存在」であり、第三には「神は人間に手を差し伸べ、働きかけて関係性を持つとうす

る存在」の三つが挙げられます。

そして、これらの性質を有する神と触れ合い交流することにより、人間性が育てられ、内面が豊かになっていきます。この意味で人間を内側から豊かにする生命の源泉ともいべき存在でありますので、

キリスト教では神を光、真理、生命として捉えてきました。神とは人間を物質的に豊かにする存在というよりは、人間を力づけ内面を豊かにする人間存在の根源であります。

しかし、このような神と触れ

合い、交流するためには人間自身にも努力が必要です。汚い欲望、我欲、自己愛、出世欲、野心等を切り捨てるとともに、自分自身の内面をコントロールする必要がありません。この人間の努力を「聖」と言います。「聖」という漢字の象形文字としての意味は「身をまっすぐにして耳を傾ける」というこ



とです。また対義語の「俗」は「水が低いところに流れる」という意味で「何の努力もしない、成り行きまかせ」ということです。

このことを実践した人々の中にマザーテレサという聖人がいます。彼女は神との交流により触発され、人間性が豊かになり、彼女をおして周囲の人々へ神の優しさがあふれ出ていきました。

さて、現代日本の孤立・孤独による無縁死は自殺者と同じく3万人を超えるところであり、社会における人々との「絆」が切れている証拠であり、これらの統計上の数字は氷山の一角であるように思われま

す。キリストがもたらした究極のメッセージは、「一人ひとりの人間はかけがえない存在であり、神と人、人と人との絆が大事である」ということであり、キリストが地上に投げかけたものは、「この世界の孤立、排除されている人々に希望を与える暖かな人間のグループを作ろう」、「神との触れ合いによつて

心を豊かにされた人間による人間を大事にするムーブメントを興そう」ということであります。

このような思想は、貴会のような社会福祉法人にとっては中心的な考えであり、外部からも指摘があるように貴会を他の組織と際立

障害者週間記念講演会より

聖マリア園 園長 加瀬政衛

12月7日(水)、聖母通園センター

2階講堂において、「障害者週間記念講演会」が行われました。講師には筑波大学大学院人間総合科学研究科教授の宮本信也先生を招聘し、「子ども虐待の理解」という演題の講演会を開催しました。始めに「子ども虐待」の定義では、

○親、または、親に代わる保護者による行為

○子どもの人権を侵害する行為
子どもの日常生活・社会生活において、客観的に判断される、子どもが自分で対処することができない、子どもが苦痛を感じる状態を生じる。

○一般的には、反復される行為

たせている特徴であると思います。」

以上の講演を拝聴することにより、本会のアイデンティティーを再確認することができました。森司教様、お忙しいところ本当にありがとうございました。(石毛記)

但し、人権侵害の程度が強い場合、反復は条件にならない。

○故意の有無は関係しない
という4つの説明を受けました。更に、「子ども虐待の種類」として、身体的虐待、心理的虐待、性的虐待、ネグレクトの4つを挙げられました。

子ども虐待の実態より、児童虐待に関する相談処理件数の推移を始めたとして、全国児童相談所での虐待の相談種別構成割合や、全国児童相談所における被虐待児年齢構成、全国児童相談所事例における主な虐待者内訳等の各グラフ説明がありました。

そして、特殊な子ども虐待、虐待が子どもの身体に与える影響、

虐待が子どもの心に与える影響、子ども虐待と発達の問題、子ども虐待への対応という展開の内容となりました。

最後に、私共に深く関係する、「施設内虐待」に言及され、子どもが施設内虐待を受ける可能性のある施設としては、障害者施設も入るとの説明でした。話の中味として、施設内虐待の内容、施設内虐待の背景、施設内虐待が発見されるべき、施設内虐待の対応、を含めて、あるべき形としての管理・運営体制の再構築の観点から、不適当職員への処分、新管理体制の構築、新運営体制の構築、「監視」体制の構築、強力な外部力の介入支援が不可欠であるとお話でした。

宮本先生には貴重なご教示をいただき、非常に勉強になりました。ご講演、本当にありがとうございました。



千葉県仮設住宅生活支援アドバイザー派遣事業 VOL.2

海匝ネットワーク 所長 吉野智

旭市における仮設住宅が設置され6カ月が経過しました。この間、ロザリオの聖母会からは日々4名の相談専門職員が「千葉県仮設住宅生活支援アドバイザー」として仮設住宅へ出向しております。

仮設住宅にお住まいの



方々は、結露や防寒対策など被災前の生活とは勝手が異なる対応に悩まれるなど様々な「現在の生活」へのストレスと、仮設住宅からどこでどのように生活再建を図っていくのかなど「今後の生活」への不安を抱えられていることと、大きく2つの困惑感を抱えながら生活をされております。仮設住宅という特異なコミュニティの中で、こころの安定を図りながら具体的生活再建を模索するというのは、想像以上に大きな問題であると私たちも認識していかなくてはなり

ません。

さて、被災者支援については、民間の様々な団体から炊き出しなどの行事や物資の寄贈などを行って頂いております。このたび、千葉県共同募金会の助成や民間団体のご支援により、仮設住宅内の集会所にテレビやソファ、コタツなどを設置することができました。

生活支援アドバイザーは、集会所の環境整備を図るにも取り組んでおりますが、仮設住宅にお住まいの方々が気軽に集えるサロンとして活用して頂けることになれば幸いです。



日本女医会より

災害見舞金のご寄付

聖母療育園

この度、聖母療育園では8月4日に社団法人日本女医会様より、3月11日に発生した東日本大震災の災害見舞金として50万円のご寄付を頂きました。

当園では、今回の震災で建物、設備に甚大な被害を受け復旧の途上にあります。

今回頂いたご寄付は施設の震災復旧資金として使わせて頂く予定です。

日本女医会の皆様からの温かいお気持ち、心より感謝申し上げます。



財団法人千葉YMCA様より寄付 ふたば保育園

十二月五日、千葉YMCAの方の来園により寄付を頂きました。ふたば保育園は建物被害をうけ、

現在は他施設の一部を利用してはいますが、児童が元気に過ごしている様子も見ていただくことができました。この寄付は、千葉YMCA創立

四十周年記念の第十四回チャリティランの収益金によるもので、今回は特別に、東日本震災で被害を受けたふたば保育園にも千葉YMCAの皆様のご厚意をいただくこととなりました。

今回このようなお心遣いを頂くことができましたので、子ども達の室内環境を整えることとし、加湿器の設置をさせていただくこと

としました。被害を受けた私達への皆様のお気持ちに、心より感謝しております。



株式会社伊藤園様より寄付

防犯カメラがつけました！

海上寮療養所

株式会社伊藤園様からの寄付で、11月上旬、第一駐車場（海上寮北側駐車場）に防犯カメラがつけました！これまでこの駐車場は死角になっていて、車へのいたずらやいろいろな事件がありましたので、防犯カメラ設置は切実な希望でした。しかし金額的になかなか難しく、あきらめていたのです。新しいカメラは通用道路では人の顔もくつきり見えて、これで患者さんもスタッフも安心して過ごせると思います。株式会社伊藤園様、本当にありがとうございます！



伊藤園様に感謝

聖母療育園 リハビリ係

この度聖母療育園では、株式会社伊藤園様からのご寄付により電動椅子を購入させていただきました。この車椅子は、色々な方が利用できるよう、身体に合わせた調節が可能な仕様になっていますので、聖母療育園の利用者のみならず当法人を利用していただく方々の支援に活用していきたいと考えております。



この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

「広報ロザリオ・福祉作文コンクール特集号」 誤植に関する訂正とお詫び

平成23年12月7日発行の、「広報ロザリオ・福祉作文コンクール特集号」に以下の誤植がありました。関係の皆様にご迷惑お詫び申し上げます。訂正させていただきます。

◆誤植箇所

12ページの入賞者欄

(新聞折込は4ページ)

中学三年生の部

誤) 3席 旭市立第二中学校

佐藤 志帆

正) 2席 旭市立第二中学校

佐藤 志帆



平成23年度税制改正に係る 社会福祉法人への寄付金の税額控除について

日頃より、本会社会福祉事業にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、租税特別措置法が改正されたことに伴い、一定の要件を満たした社会福祉法人に個人の方が寄付金を支出した場合、当該寄付金に関して税額控除制度の適用を受けることができることとなりました。今までは個人の方が社会福祉法人へ寄付金を支出した場合は所得控除制度が適用されていましたが、これに加えて税額控除制度との選択適用を可能とし、平成23年分から適用されることとなりました。

特徴です。逆に従来の所得控除制度は所得税率が高い高額所得の方が減税効果が高いことが特徴です。

具体的には、支出した寄付金から2千円を差し引いた額の40パーセントが所得税額からの控除対象額となり、控除額の上限は所得税額の25パーセントです。本会は当該税額控除制度の適用対象法人なので平成23年にご寄付をいただいた方には本件の通知文等を郵送させていただきました。平成24年の確定申告時に税額控除を選択される際には、同封した証明書の写しを添付されますようお願い申し上げます。
(法人本部事務局 担当・仲條)

個人が社会福祉法人に寄附を行った場合における税額控除制度の創設 (所得税、個人住民税)

内容

パブリック・サポート・テスト(寄附金額が年3,000円以上の寄附者の数が年平均100人以上又は総収入金額に占める寄附金総額の割合が5分の1以上)等の基準を満たした社会福祉法人に対して個人が寄附を行った場合、その寄付金について、現行の所得控除方式に加えて税額控除方式も選択可能とする。

制度の概要

★所得税

次の要件を満たす社会福祉法人に対して、個人が寄附を行った場合、その寄附金額は所得控除又は税額控除の対象となる。

- 要件1：認定NPO法人の認定要件であるパブリック・サポート・テストと同等の要件（寄附金額が年3,000円以上の寄附者の数が年平均100人以上、又は総収入金額に占める寄附金収入の割合が5分の1以上）
- 要件2：認定NPO法人の認定要件と同程度の情報公開に関する要件（事業報告書、役員名簿、定款等の閲覧等）

<所得控除の場合>

寄附金額（所得の40%が限度） - 2千円
を所得から控除



<税額控除の場合>

(寄附金額 - 2千円) × 40%
を所得税額から控除 (所得税額の25%が限度)

※平成23年分以後の所得税について適用

★個人住民税

個人住民税の寄附金税額控除の適用下限額を現行の5千円から2千円へ引き下げる。

(現 行)

(寄附金額 (所得の30%が限度) - 5千円) × 10%
を個人住民税額から控除



(改 正 後)

(寄附金額 (所得の30%が限度) - 2千円) × 10%
を個人住民税額から控除

※平成24年度分以後の個人住民税について適用

ロザリオの聖母会次世代育成支援行動計画

全ての職員が働きやすい環境を整備することによって、その能力を十分に発揮できるようにするとともに、子育て中の職員が、仕事と子育ての両立を図ることができるよう、次のように行動計画を策定する。

1 計画期間 平成23年4月1日から平成27年3月31日の3年間
第3期(平成23、24、25、26年度)

2 内容

目標1 【有給休暇の取得率】

- ①第1期に引き続き、年次有給休暇の取得率を50%以上にする。
②取得日数の少ない部署の把握及び取得できない原因を検討する。
③取得日数の少ない部署の職場管理者に対して指導、並びに取得できない状況を改善し、取得しやすい環境に整える。

目標2 【妊産婦に対するの処遇配慮】

- ①妊産婦に対して、妊娠判明時から産後1年間は夜勤の免除をする。
②妊娠判明時から産後1年間は就業規則上の休日労働・時間外労働をさせない。
③上記2項については、本人の希望する場合のみとする。

目標3 【子育て中の職員に対するの処遇配慮】

- ①未就学児の育児を理由に常勤からパートタイマーへ勤務体系の変更を希望する職員に対して、いつでも常勤に戻れるという条件での変更を認める。

目標4 【子の看護休暇制度を上回る処遇改善】

- ①子の看護休暇を取得しやすくするため、年5日の休暇の内3日を特別有給休暇扱いとする。

3 対策

- ・法人の月報(職員向け広報紙)や法人内LANを活用して周知・啓発を実施します。また取得結果を職員に公開します。
・管理者は、有給休暇の取得状況を把握し、取得しやすい環境づくりに努めます。管理者に対する研修を行います。
・管理者は、処遇配慮の対象となる職員の把握に努め、この行動計画についての説明と希望の有無を話し合い、希望に添う業務上の配慮を実施します。

平成22年度ロザリオの聖母会
苦情受付状況のお知らせ

Table with 7 columns: 一、施設別件数, 二、受付手段別件数, 三、申し出者別件数, 四、苦情分類別件数, 五、内容別件数, 六、想定原因別件数, 七、第三者委員への報告、調停. Rows include categories like 海上療養所, 電話, 口頭, ケアの内容, 備品損害, サービス内容, etc.

本会では、寄せられた苦情に適切に対処することを通じて、より一層のサービス向上に努めたいと考えています。

ロザリオの聖母会平成23年度永年勤続表彰

勤続20年

齊藤 利広
仲條 真弓
大割 紀幸
五木田 日女子
伊藤 あけみ
白井 英子
中曽根 才智

勤続10年

石橋 恵子
吉田 陽子
松井 はる子
島田 正江
磯邊 晃史
辻内 理章
吉田 俊子
稗田 睦樹
瀧口 知代
伊藤 康史
佐久間 淳
坂卷 憲一
佐藤 晴美
山口 奈保美
大竹 よし子
山崎 廣
齋藤 利枝



全国社会福祉協議会会長表彰

小池 秋男

社会福祉事業功労者に
対する千葉県知事表彰

林 ミオ子

千葉県社会福祉協議会会長表彰

伊藤 あけみ
大割 紀幸

五木田 日女子
中曽根 才智

白井 英子
仲條 真弓

ボランティア感謝式受賞者

平成23年度ボランティア感謝式
の受賞者に、賞状と、ささやかな
記念品をおくらせていただきました。
受賞者は次の方々です。

- ・福富鐵志様
- ・株式会社伊藤工務店様
- ・森管工株式会社様
- ・有限会社ユーシン電設様
- ・旭市立中央小学校 5年B組様

- ・イオンリテール株式会社
南関東カンパニー千葉営業部イオン旭店様
- ・東日本旅客鉄道株式会社
千葉支社 吹奏楽部様
- ・国保小見川総合病院付属看護専門学校様



ご協力ありがとうございました。

寄付者御芳名

平成23年
9月30日
～
12月29日

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|-------|-------|-----------------------|---------------|-------------|-------|-------|-------------------|-------|-------------------------|-----------------|-----------------------|-------|---------|--------|-------|--------|------------|-------|--------|-------------------------|--------|----------|
| 松田昭夫様 | カトリック 習志野教会様 | 野口厚司様 | 宮澤均様 | 佐々木日出男様 | 伊藤幸子様 | 菅谷秀樹様 | 丸山智靖様 | 長嶋義夫様 | レデンプトリスチン 修道院様 | 鵜澤かね様 | 田村照夫様 | カトリック 西千葉教会様 | 小宮和彦様 | 黒崎弘康様 | 武石啓子様 | 田中長子様 | 古屋節子様 | 小池すみ江様 | ハヤシ家電サービス様 | 吉松和哉様 | 宇井千代子様 | 高橋順子様 | 荒井美佐子様 | 鵜沢建設(株)様 |
| 旭市役所 総務課様 | 旭市女子学院生徒一同様 | 遠藤修様 | 桑原閏子様 | 旭市役所環境課 きれいな旭を作る会様 | 代表取締役社長 大山吉男様 | (株)国際エアールジー | 星野厚様 | 土屋和夫様 | 聖心会ヴィラ不二様 | 櫻井ふく様 | 日本原子力発電関連企業 労働組合総連合様 | 大久保二郎様 | 旭ロータリークラブ 会長 松浦常男様 | 宮澤均様 | 聖心女子学院様 | 村田佳代子様 | 佐多範洋様 | 向後文司様 | 小嶋昭三様 | 高野丈夫様 | 木村潔様 | NPO法人 千葉家連 理事長 寺尾直宏様 | | |

Photo Gallery



▲みんなの家
「わっうまそう!!」



▲佐原聖家族園
「佐原よとこ水の郷～」



▲聖家族作業所 チャレンジ班
「みんなで一生懸命つくりました!」



▲聖家族園
「クリスマスプレゼントは何かな??」



▲ワークセンター 忘年会
「お料理がおいしすぎて、踊りだしちゃう!!」

＜第2回就業支援者養成ミニセミナー in 香取＞

内容：就労支援事業所見学ツアー
日時：平成24年1月25日（水）
9：00～16：00（集合8：50）
見学先：千葉障害者就業支援キャリアセンター
障害福祉サービス事業所 あかね園

お問い合わせ 香取就業センター
TEL 0479-74-8331

＜職場定着促進のための勉強会＞

テーマ：「身だしなみ」
日時：平成24年2月25日（土）
13：30～16：00
場所：さわやかホール
講師：ヤクルト化粧品販売株式会社御中
対象者：障害のある人で就労している方
または就労希望の方
参加費：無料

お問い合わせ 東総就業センター
TEL 0479-60-0211

本誌のバックナンバーを
ロザリオウェブサイト
(http://www.rosario.jp)
に掲載しています。

行事予定

- 24. 1. 4 新年あいさつ会、経営会議（紙上）
11 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
13 クリーンデー
17 中間管理職育成研修
18 法人運営会議、経営会議、地域生活支援会議
19 通所事業所連絡会議
25 理事会
31 管理職研修
2. 1 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
7 平成22年度入職者発表会
8 経営会議
14 平成21年度入職者発表会
15 法人運営会議、経営会議、地域生活支援会議
21 平成20年度入職者発表会
28 平成19年度入職者発表会
3. 6 平成23年度入職者発表会、
師長・主任・副主任研修会
7 経営会議、合同研修会（研究発表会）
9 クリーンデー
14 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
15 通所事業所連絡会議
21 法人運営会議、経営会議、地域生活支援会議
28 理事会、評議員会
29～31 就職内定者研
4. 2 平成24年度辞令交付式、幹部職員顔合わせ会

職員募集のお知らせ

精神科、障害児者医療に携わる
看護師を募集しています。

◆随時面接を行っていますので、
本部総務課までご連絡ください
TEL 0479(60)0600
(担当 採用係)

問い合わせ
TEL 0479(60)0600
(担当 仲條)

ロザリオの聖母会では、施設や
利用者のために常時ボランティア
のご協力をお願いしています。
お願いのできる方は是非、ご連
絡ください。ご協力をお願いしま
す。

ボランティア募集のお知らせ

聖母療育園

看護師
井手由美子

施設で働くのは、初めてです
が利用者さんに優しく接してく
れています。
2児の母でもあり、趣味は韓
国旅行に行く事です。

新任者紹介

医療 療養施設
海上療養所
自立訓練（生活訓練・就労継続支援B型事業所）
地域生活支援センター
友の園
重症心身障害児施設
聖母療育園
重症心身障害児通園施設
聖母通園センター
障害児デイサービス
ふたば保育園
地域生活支援センター
ロザリオ発達支援センター
障害者支援施設
聖マリア
障害者支援施設
聖家族
障がい者の就労促進事業所
みんなの家園
障害者就業・生活支援センター
東総就業センター
生活介護事業所
聖家族作業所
共同生活介護・共同生活援助事業所
グループホーム支援センター
高齢者支援事業
ロザリオ高齢者支援センター
ロザリオ訪問介護事業所
通所介護・介護予防通所事業所
デイサービスセンター・ローザ
中核地域生活支援センター
旭市相談支援センター
旭市障害者支援センター
障害者支援施設
佐原聖家族園
つどいの家園
共同生活介護・共同生活援助事業所
ケアホーム香取・グループホーム香取
香取市相談支援センター
香取障害者支援センター
障害者就業・生活支援センター
香取就業センター